



公式ケータイサイト
<http://fctokyo.sportsinfo.jp>



<https://twitter.com/fctokyoofficial>



<https://www.facebook.com/fctokyo>



<http://line.me/ti/p/@fctokyo>



<https://www.instagram.com/fctokyoofficial>



<https://www.youtube.com/user/fctokyochannel>

<https://www.fctokyo.co.jp>



F.C. TOKYO



強く、愛されるチームをめざして

ごあいさつ

日頃よりFC東京に多大なるご支援・ご声援を賜り、ありがとうございます。2019シーズン以上の高みをめざし、目に見える変化を求めてスタートした2020シーズンですが、厳しさと難しさに直面した1年となりました。「自らが望む変革」に加え、新型コロナウイルスの影響により「受け入れざるを得ない変化」もあり、手探りの状態は続いています。

リーグ再開後、リモートマッチ（無観客試合）の時期を経て段階的に入場制限の緩和が進み、私たちが状況を見極めながら慎重に対策をとってきました。また、J1リーグ戦やAFCチャンピオンズリーグ、またルヴァンカップ決勝においても日程変更を余儀なくされ、選手のコンディション調整に大きな負担となりました。このような今までに経験したことのない1年ではありましたが、最後にルヴァンカップ優勝という結果で終えられたことは、この特別な年にFC東京ファミリー全員の想いで成し遂げたものであり、クラブにとっても大きな財産となりました。

また、2020シーズン初めに『2023VISION』を発表いたしました。それは凍結せざるを得ない状況です。さらに、手をこまねいているわけにはいきません。この経験を踏まえて新たな『2023VISION』を策定し、2021シーズンのスタート時に発表いたしました。そのビジョンに沿って、まずはできうる限り2019シーズン以前の状態を「取り戻すこと」をめざし、リスタートを切る所存です。

テーマのひとつとして、クラブの文化を再構築する「Re-CULTURE」を掲げてい

ます。サッカーを知らない方々にもFC東京の認知度、ブランド力を高めていきたいという想いはこれまでと変わりはありません。さらに地域に必要とされ、存在意義を高めるためには、新たな文化を創り出し、価値を生み出さなければなりません。首都のクラブとしてスタイリッシュな文化を創り出せるように臨んでいきたいと考えています。

また今後は、FC東京に関わる方々とのコミュニケーションも再構築していく必要性があります。これまでは、地域、企業スポンサーの方々に対して足しげく通い、対面してコミュニケーションを図ることで関係性を築き上げてきました。時代の流れに沿って、SNSでの発信やオンライン、デジタルでのコミュニケーションにも力を入れてまいりましたが、コロナ禍の影響も受けるなかで、ここからより緊密な関係性を築いていく方法は何か。そこを模索していかなければなりません。

今こそ困難に立ち向かい、みなさまの協力をあおぎ、ともに戦っていきたく考えます。ここまでのご支援に感謝するとともに、ぜひ2021シーズンもご声援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



東京フットボールクラブ株式会社
代表取締役社長 **大金 直樹**

会社概要

会社名

東京フットボールクラブ株式会社
TOKYO FOOTBALL CLUB Co., Ltd.

所在地

〔調布事務所〕
〒182-0034 東京都調布市
下石原1-2-3 TSOビル
〔TEL〕042-444-2630

〔深川グラウンド〕
〒135-0003
東京都江東区猿江2-15-10

〔小平グラウンド〕
〒187-0001
小平市大沼町3-14-1
東京ガス武蔵野苑内

創立

1998年10月1日（都民の日）

主な事業

1. プロサッカーチーム「FC東京」の運営（1999年よりJリーグディヴィジョン2に加盟）
2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動
3. チームのオリジナルグッズの製作・販売

資本金

1,187,000,000円
(2020年1月31日時点)

エンブレム



BASIC PHILOSOPHY



FC東京の基本理念

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型」Jリーグクラブ」づくりを目指します。

- ① サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。
- ② 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これをJリーグクラブの組織づくりのベースとし、その発展・拡大により実現していく。
- ③ 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感（地域社会への帰属意識）の醸成・地域社会の活性化に寄与する。
- ④ サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。

2023 VISION

LIFE with F.C.TOKYO ~FC東京のある日常を~

※2020シーズン初めに『2023VISION』を発表いたしました。新型コロナウイルスの影響により凍結し、新たな『2023VISION』を2021シーズン初めに発表いたしました。

クラブの歴史

- 1935 前身である東京ガスフットボールクラブ創部。
- 1986 東京都リーグより関東リーグに昇格。
- 1991 全国地域リーグ決勝大会で優勝。JSL2部へ昇格を果たす。
- 1992 JFLに加入。
- 1997 天皇杯でJリーグ勢を3連破し、準決勝へ進出。
- 1998 JFL念願の初優勝を飾る。Jリーグディヴィジョン2 (J2) に参入決定。東京フットボールクラブ株式会社を設立し、東京初のJリーグクラブが誕生。
- 1999 ヤマザキナビスコカップベスト4進出。J2リーグでは2位の成績で、1年でJ1昇格を決める。
- 2000 J1初めてのシーズン。1stステージ6位、2ndステージ8位。総合7位。
- 2001 東京スタジアム（現味の素スタジアム）開業。
- 2004 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、浦和レッズにPK戦の末勝利し、念願のクラブ初タイトルを獲得。
- 2008 クラブ創設10周年を迎える。第32節まで優勝の可能性を残すも、J1リーグ6位でシーズン終了。ヤマザキナビスコカップベスト8。天皇杯ベスト4。
- 2009 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、川崎フロンターレに勝利し、クラブ2つ目のタイトルを獲得。チームマスコット「東京ドロボウ」が登場。
- 2010 J1リーグで16位となり、J2 降格。「2010 Jリーグアウォーズ」の最優秀育成クラブ賞を受賞。
- 2011 J2リーグで優勝、1年でJ1リーグ復帰。第91回天皇杯中初優勝、AFCチャンピオンズリーグ (ACL) 出場権獲得。
- 2012 FUJI XEROX SUPER CUP 2012に初出場。ACLラウンド16に進出。J1リーグ10位。
- 2014 J1リーグ9位。リーグ戦においてクラブ新記録である14試合無敗を達成。
- 2015 2ステージ制の導入。J1リーグ1stステージ2位、2ndステージ6位。年間4位。ヤマザキナビスコカップベスト8。天皇杯ベスト8。ACLプレーオフ出場権を獲得。
- 2016 ACLラウンド16進出。J1リーグ1stステージ9位、2ndステージ9位。年間9位。ルヴァンカップベスト4。天皇杯ベスト8。FC東京U-23を編成。J3リーグ10位。
- 2017 J1リーグ13位、J3リーグ11位。ルヴァンカップベスト8。天皇杯2回戦敗退。「2017 Jリーグアウォーズ」最優秀育成クラブ賞、フェアプレー賞を受賞。
- 2018 J1リーグ6位、J3リーグ14位。ルヴァンカップグループステージ敗退。天皇杯ラウンド16 (4回戦) 敗退。「2018 Jリーグフェアプレー賞」をJ1リーグ、J3リーグで受賞。
- 2019 J1リーグ2位、J3リーグ16位。ルヴァンカップ 準々決勝進出。天皇杯 3回戦進出。2019 JリーグアウォーズにてFC東京が「フェアプレー賞高円宮杯」を、FC東京U-23が「フェアプレー賞(J3)」を受賞。
- 2020 YBCルヴァンカップ決勝にて柏レイソルに勝利し、11年ぶり3度目の優勝を果たす。J1リーグ6位、ACLラウンド16進出。

2020 順位・戦績

2020 順位表									
順位	チーム名	勝点	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	
1	川崎フロンターレ	83	26	5	3	88	31	57	
2	ガンバ大阪	65	20	5	9	46	42	4	
3	名古屋グランパス	63	19	6	9	45	28	17	
4	セレッソ大阪	60	18	6	10	46	37	9	
5	鹿島アントラーズ	59	18	5	11	55	44	11	
6	FC東京	57	17	6	11	47	42	5	
7	柏レイソル	52	15	7	12	60	46	14	
8	サンフレッチェ広島	48	13	9	12	46	37	9	
9	横浜F・マリノス	47	14	5	15	69	59	10	
10	浦和レッズ	46	13	7	14	43	56	-13	
11	大分トリニータ	43	11	10	13	36	45	-9	
12	北海道コンサドーレ札幌	39	10	9	15	47	58	-11	
13	サガン鳥栖	36	7	15	12	37	43	-6	
14	ヴィッセル神戸	36	9	9	16	50	59	-9	
15	横浜FC	33	9	6	19	38	60	-22	
16	清水エスパルス	28	7	7	20	48	70	-22	
17	ベガルタ仙台	28	6	10	18	36	61	-25	
18	湘南ベルマーレ	27	6	9	19	29	48	-19	

※2021シーズンより徳島ヴォルティス、アビスパ福岡がJ1リーグ昇格

2020 JLEAGUE (YBC) Levain cup 戦績表			
開催日	対戦相手	スコア	会場
【ブライムステージ 準々決勝】			
9/2(水)	名古屋グランパス	0-3	味の素スタジアム
【準決勝】			
10/7(水)	川崎フロンターレ	0-2	等々力陸上競技場
【決勝】			
2021/1/4(月)	柏レイソル	0-2	国立競技場

2020 CHAMPIONS LEAGUE 2020 戦績表				
節・戦	開催日	対戦相手	スコア	会場
【グループステージ(グループF)】				
1	2/11(火祝)	蔚山現代FC(韓国)	△1-1	蔚山文殊フットボールスタジアム
2	2/18(火)	パース・グローリー FC(オーストラリア)	○1-0	東京スタジアム
3	11/24(火)	上海緑地申花足球倶楽部(中国)	●0-1	エデュケーションシティ・スタジアム
4	11/27(金)	上海緑地申花足球倶楽部(中国)	○2-1	エデュケーションシティ・スタジアム
5	11/30(月)	蔚山現代FC(韓国)	●1-2	エデュケーションシティ・スタジアム
6	12/3(木)	パース・グローリー FC(オーストラリア)	○1-0	エデュケーションシティ・スタジアム
【決勝トーナメント】				
R16	12/6(日)	北京中赫国安足球倶楽部(中国)	●0-1	エデュケーションシティ・スタジアム

FC.TOKYO 2020 TOPICS

TOPICS 01

2020 Jリーグ YBCルヴァンカップ 優勝!

2020 Jリーグ YBCルヴァンカップ 決勝において、柏レイソルに2-1で勝利し、11年ぶり3度目の優勝を果たしました。また、先制ゴールを決めたレアンドロ選手がMVPに輝きました。

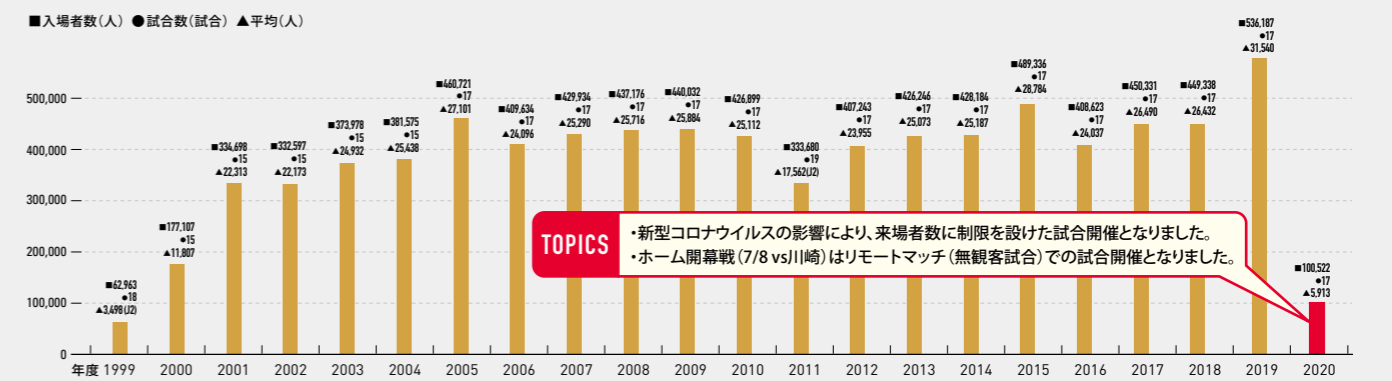


TOPICS 02

代表選出 (2020シーズン在籍選手)

- ・渡辺 剛 (U-23日本代表)
- ・波多野 豪 (U-23日本代表)
- ・中村 拓海 (U-19日本代表)
- ・安部 柊斗 (U-23日本代表)
- ・中村 帆高 (U-23日本代表)
- ・野澤 大志ブランドン (U-19日本代表)
- ・木村 誠二 (U-19日本代表)
- ・バンゲーナガンデ 佳史扶 (U-19日本代表)

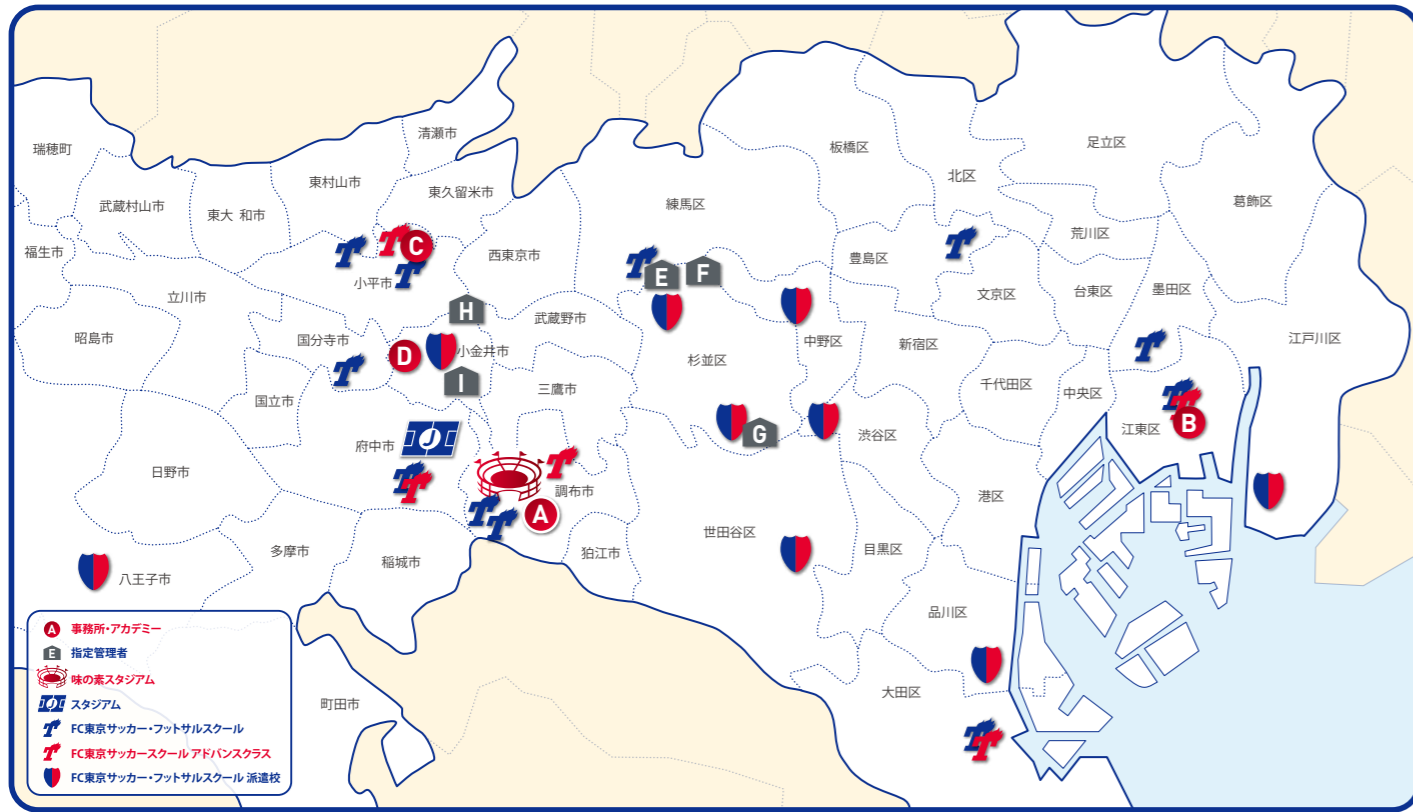
来場者数推移



TOPICS

- ・新型コロナウイルスの影響により、来場者数に制限を設けた試合開催となりました。
- ・ホーム開幕戦(7/8 vs川崎)はリモートマッチ(無観客試合)での試合開催となりました。

ホームタウン「東京」



事務所・アカデミー

- A** **【調布事務所】**
〒182-0034 東京都調布市下石原1-2-3 TSOビル
【TEL】042-444-2630
- B** **【深川グラウンド】**
〒135-0003 東京都江東区猿江2-15-10
FC TOKYO U-15 深川
- C** **【小平グラウンド】**
〒187-0001 東京都小平市大沼町3-14-1
東京ガス武蔵野苑内
FC TOKYO U-18
- D** **FC TOKYO U-15 むさし**

スタジアム

【味の素スタジアム】
調布市西町376-3

【FC東京パーク府中】
府中市宮町1-41-2
フォレストサイドビル屋上
【TEL】042-314-1380

指定管理者

- E** **杉並区上井草スポーツセンター**
杉並区上井草 3-34-1
【TEL】03-3390-5707
- F** **杉並区妙正寺体育館**
杉並区清水3-20-12
【TEL】03-3399-4224
- G** **杉並区永福体育館**
杉並区永福1-7-6
【TEL】03-3328-3146
- H** **小金井市総合体育館**
小金井市関野町1-13-1
【TEL】042-386-2120
- I** **小金井市栗山公園健康運動センター**
小金井市中町2-21-1
【TEL】042-382-1001

クラブコミュニケーターアクション (C.C.A)

今後のホームタウン（地域）との繋がりをより生み出し深めていくために、石川直宏CCの熱い想いと地域のみなさまと一緒に作り上げていく新たな取り組み「クラブコミュニケーターアクション(C.C.A)」を実施しています。

C.C.A企画について説明しました。 オンラインコミュニケーションの様子。

自宅で行える簡単「エクササイズ」を調布 味の素スタジアム周辺のごみ拾いを実施。市のご協力のもと実施。

スタジアム

味の素スタジアム

住所 東京都調布市西町376-3
電話番号 042-440-0555
収容人数 48,955人

「ECOパスプロジェクト in 味スタ」の実施

資源の有効活用を目的に帝人フロンティア株式会社とともにゴミの分別・ペットボトルの回収に取り組みました。リサイクルして製造した素材を社会福祉法人東京コロニーにて加工・縫製したECOパスバッグも販売しました。

ヘルプマーク普及啓発活動

義足や内部障がい者、難病の方など援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々のための「ヘルプマーク」の普及啓発活動に協力し、12月12日(土) サンフレッチェ広島戦で東京都と東京ドロンパとコラボした啓発グッズ「ミニタオル」を配布しました。

赤い羽根共同募金

12月19日(土) ヴィッセル神戸戦で東京都共同募金会ならびに協働募金調布地区協会との協働で「赤い羽根共同募金の募金活動」を行いました。売上が募金となる「チャリティーピンバッジ」は、好評をいただいています。

国際交流

応援してくれるクラブスポンサー企業のビジネスがグローバルに展開しています。また、サッカーのビジネスも世界に向けてこの数年非常に成長・発展してきています。こういった環境下で、我々もグローバルな活動や動きに対応し、企業のグローバル活動をサッカーを通じて加速・支援していきます。

- サイゴンFCとの提携**
ベトナムのプロサッカーリーグであるV1リーグの強豪、サイゴンFCと、サッカー・スクール事業やアカデミーの立ち上げの協力、クラブ経営全般の支援のために2020年4月に提携を行いました。2020年12月から具体的な活動がスタートしています。
- アジア進出セミナーの実施**
タイ、インドネシア、ベトナムのクラブとの提携をベースに、企業のアジア市場進出支援を本格的にスタートさせました。JETROタイ(バンコク)、ホーチミン、中核企業のきらぼし銀行とのアジア進出セミナー本年度実施し、多くの企業にご参加いただきました。こういった動きは経産省、スポーツ庁からも注目をされています。
- 海外発信の強化**
FC東京の海外での活動や、今後のグローバル戦略、コロナ環境下でFC東京がどのように感染症を予防しながら公式戦を開催しているかの運営マネジメント事例などについて積極的に英語で海外に発信いたしました。具体的にはフランス商工会議所、ドイツ商工会議所、ESSMA(European Stadium&Safety Management Association)などでオンラインセミナーを行い、多くの海外の方にご参加いただきました。

マッチイベント

新型コロナウイルスの影響により入場者数の制限はあったものの、感染症対策をしながらイベントを実施。
8月15日(土)名古屋グランパス戦の『Teddy Bear Day』では、来場者へ「抽選券付FC東京特製ペアマスコットチャーム」を配布し、勝利チームへの「ティディベア賞」を長谷川監督が受け取りました。

8月23日(日)湘南ベルマーレ戦の『大矢運送 Day』では、来場者へオリジナルフリフバッグ(レジャーシート付)を配布し、選手への応援メッセージ動画の放映やスタジアム内に大型クレーン車を設置しました。例年とは異なる環境ではありましたが、ご来場のみなさまに楽しんでいただけるイベントを行いました。

2020年 マッチイベント実施報告

開催日	対戦相手	イベント名
8月15日(土)	名古屋グランパス	Teddy Bear Day
8月23日(日)	湘南ベルマーレ	大矢運送 Day
9月20日(日)	ベガルタ仙台	umbro Day
10月10日(土)	ガンバ大阪	明治安田生命 Day
10月28日(水)	柏レイソル	びあ Day
12月12日(土)	サンフレッチェ広島	きらぼし銀行 Day
12月19日(土)	ヴィッセル神戸	ジーク Day

STAY WITH TOKYOの取り組み

来場者数が制限された試合でも、チームがファン・サポーターの方々に近く感じ、そしてファン・サポーターの方々がよりチームを後押しいただけるように、「STAY WITH TOKYO」の取り組みを実施いたしました。

トップチーム帯同グッズ 「WALK ON with SOCIO,SUPPORTERS」の販売



リモートマッチや入場者数の制限がありスタジアムにご来場いただけないときも、ファン・サポーターのみなさんの想いを込めたトラベルタグとキーリングを試合に帯同。選手ロッカーや選手入場口に装飾しました。

選手着用ユニフォームへの 「You'll Never Walk Alone」の掲出



選手着用ユニフォーム(胸部分)に「You'll Never Walk Alone」を掲出し、スタジアムでの観戦が難しい時期においても、選手はファン・サポーターの想いを胸に戦いました。

ビッグフラッグの掲出



入場者数の制限がある試合において、ファン・サポーターが「You'll Never Walk Alone」を歌うシーンをデザインしたビッグフラッグをスタンドに掲出いたしました。

青赤パークオンライン Before/After The Match supported by XFLAG



入場者数が制限された状態での試合開催時に、ご自宅などからオンラインでFC東京の試合を観戦いただくファン・サポーターのみなさまに、少しでも長く、最大限楽しんでいただけるよう、監督会見、選手インタビュー、試合プレビュー、ウォーミングアップなど、様々な企画をYouTubeにて配信いたしました。

オンライン病院訪問



都立小児総合医療センターとの連携の一環として、今年で2回目となる病院訪問。新型コロナウイルス感染症の影響で今年は病院への訪問がかなわず、オンラインにて訪問実施。今年は3名の選手・石川クラブコミュニケーターと10歳の少年との会話を楽しみました。

「子ども食堂」への関わり



コロナ禍でも子ども達に、元気で明るく楽しく過ごしてもらいたいという想いから、ホームタウンにある子ども食堂へ連絡会等を通じてノートやお菓子などを寄付しました。

リモートマッチ時の 医療従事者へのメッセージ



新型コロナウイルス感染症の影響でリーグが約4ヶ月中断。再開後のホームゲーム初戦7/8(水)川崎戦にて、無観客のスタンドにFC東京のユニフォームで医療従事者へのメッセージコレオグラフィを実施しました。

青赤STAY HOME週間



5月2日(土)~5月6日(水休)の大型連休の期間、『青赤STAY HOME週間』として、ファン・サポーターのみなさまがおうちで楽しめるよう、映像のLIVE配信やプレゼントキャンペーンなど様々な企画を実施いたしました。

東京都知事への表敬訪問



6月24日(水)、リーグ村井チェアマンと東京都内の3つのJクラブの代表が、東京都知事へ表敬訪問しました。新型コロナウイルス感染症対策への協力や明治ア田生命J1リーグの再開について報告をしました。

東京都との取り組み (スタジアムでの横断幕設置など)



東京都と連携し、感染防止徹底宣言ステッカーの普及啓発、大型横断幕の設置、大型映像機での感染防止映像の放映など新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みを実施しました。

ホームゲームでの感染症対策



ご来場いただくファン・サポーターのみなさまに安心して試合観戦をお楽しみいただけるよう、

- ①リーグ 新型コロナウイルス感染症対応ガイドラインの遵守と徹底
 - ②ファン・サポーターのみなさまとともに「新しい生活様式」の実践への取り組み
 - ③東京都・味の素スタジアムと連携した新型コロナウイルス感染症対策への取り組み
- を基本方針としてホームゲームを開催しました。

あおあかドリル



子ども達に身体を動かす楽しさを感じてもらえるきっかけづくりとして「あおあかドリル」を制作。ドリルのくわしい内容や行い方のアドバイスとして、普及部コーチたちによるデモンストレーション動画も公開しました。コロナ禍の状況においても、工夫しながら身体を動かすこと・あきらめずに何度も挑戦することの大切さを伝えます。

オンライン小学校訪問



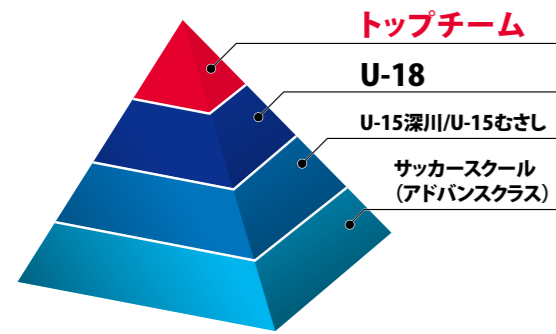
今年で13回目となる小学校訪問も、どんな形でも子ども達と交流し夢や希望を伝えたいという選手会の想いから、今年はオンライン会議システムを活用して実施。都内小学校7校約700名の子ども達とオンラインを介して交流を深めると同時に、ビデオレターを活用した取り組みも実施しました。



育成活動

育成ビジョン

FC東京は、トップチームへの優秀な選手を輩出するために、勝者のメンタリティを兼ね備え自立した選手を育成し、攻守に支配するサッカースタイルを確立します。



選手育成コンセプト

- Speed** スピード
- Personality** 人間性
- Insight** 洞察力・判断力
- Race** 競争
- Independence** 自立
- Technique** テクニック

サッカースタイル

- Attack**
ボールと人が考えて動く、攻撃的パスサッカー
- Transition**
切り替え・ハードワーク
- Collective**
攻守にプレーが連続
運動したコレクティブなサッカー
- Possession**
ポゼッション
(ゴールを目指す・シュートで終わる)

FC.TOKYO アカデミー出身選手

※ 2020シーズン在籍選手



FC.TOKYO U-18



- 高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ2020 関東 3位
- 高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ2020 東京1部 7位
- 第44回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会 準優勝

FC.TOKYO U-15



FC.TOKYO U-15 むさし

- 2020年度関東ユース (U-15) サッカーリーグ 1部 5位
- 2020関東ユース (U-13) サッカーリーグ 1部Aリーグ 2位 (暫定)
- ※ 1/17時点で1試合未消化のため暫定順位となります。



FC.TOKYO U-15 深川

- 2020年度関東ユース (U-15) サッカーリーグ 1部 8位
- 2020関東ユース (U-13) サッカーリーグ 1部Bリーグ 2位

年代別日本代表



普及活動

サッカー・フットサルスクール

都内22箇所(スタッフ派遣校9校を含む)で行われている「サッカー・フットサルスクール」には、約4,000名の子どもたちが在籍しています。個人の技術・戦術面でのレベルアップはもちろん、自ら考え取り組む力や仲間と協力する力も育みます。



サッカー・フットサルを通じてスポーツの楽しさを伝え、老若男女問わず気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに寄与しています。各地域の行政や学校とも連携・協力を図り、幅広い活動を行いました。

サッカーフェスティバル・サッカークリニック

東京ガス株式会社、株式会社大林組にご協賛いただき各種サッカーフェスティバルやサッカークリニックを開催しました。今年度は感染症対策にご協力いただきながら、小学生・中学生・女性・障がいのある方など様々な方を対象にサッカーの楽しさに触れることのできる機会を提供しました。

キャラバン隊・キッズ巡回

教育委員会と連携した「キャラバン隊」・東京都サッカー協会と連携した「キッズ巡回」では、感染症対策を十分に講じた上で普及部コーチが学校・園を訪問し、サッカーの楽しさを伝えるだけでなく、自分で考え行動できるような働きかけをしています。子どもたちの自立心の成長が感じられる貴重な体験授業です。

あおぞらサッカースクール

一人でも多くの子どもたちがサッカーを通じて楽しく元気に育ててもらえるように、感染症対策へ細やかに配慮し知的障がいのある子どもたちを対象にサッカー教室や「あおぞらサッカースクール」を開催しました。これまで調布市にて実施してきた毎月1回の「あおぞらサッカースクールin調布」も実施し、コロナ禍でも継続的・定期的な活動を行いました。

女の子・女性向けのサッカー教室

女の子・女性がサッカーやフットサルを、気軽に始めることのできる場として「なでこひろば」や「女性限定のサッカー教室」を、感染症対策を講じながら開催しています。また、スクールにガールズ・レディースクラスを設け、楽しみながらプレーを続けていける環境づくりに大切にしています。

おとなのサッカー・フットサル教室

大人を対象とした「おとなのサッカー・フットサル教室」は、「観るスポーツ」としてだけでなく実際にプレーをすることで、より交流や理解を深めてもらう活動です。今年度は参加者のみなさんにも感染症対策へご協力いただき、年齢や性別を問わずたくさんの方との出会い・再会の場となりました。

オンラインイベント

コロナ禍での新たな取り組みとして、オンラインを活用したイベント・講習会を実施しています。外出がはばかれる状況下でも手軽に参加できるオンラインの良さを活かし、身体を動かす楽しさを画面を通して伝えています。また、指導者のみなさんや保護者を対象にした講習会も開催し、積極的な意見交換の場となりました。

FC東京パーク府中

FC東京が運営するフットサル施設「FC東京パーク府中」では、2020年4月に人工芝を張替え、新型コロナウイルス感染症対策を整えながら、スクール活動をはじめ各種サッカー・フットサルのイベント、土日祝日にはFC東京普及部コーチによるワンデイイベントを実施し、老若男女たくさんの方々にご来場いただきました。

指定管理者

FC東京は杉並区上井草スポーツセンター、杉並区妙正寺体育館、杉並区永福体育館、小金井市総合体育館、小金井市栗山公園健康運動センターの指定管理者として、各施設の管理・運営を行っています。加えて、2020年10月より協力企業として「中野区立平和の森公園・キリンレmonsスポーツセンター」の運営に携わる事になりました。今後も、サッカー・フットサル教室をはじめ、ビーチサッカー・ビーチバレーボール教室、職場体験や地域への講師派遣など、多様な形でみなさまと交流を図りながら、地域社会に貢献してまいります。

バレーボールチーム

東京ガスバレーボール部を前身とし、1986年地域リーグ(東部)に初参戦。2003年「FC東京バレーボールチーム」へ移行。2009年V・チャレンジマッチ(入替戦)に勝利し、V・プレミアリーグ(当時)昇格。2018年に墨田区総合体育館をホームアリーナとし、V.LEAGUE Division 1 (V1)に参戦中。



活動方針

1 バレーボールを通じた地域貢献

バレーボールを通じて青少年の健全な心身の育成および都民各層の健康や喜びづくりに寄与し、豊かなスポーツ文化の振興に貢献します。

2 バレーボールの普及と発展

バレーボールの競技人口拡大とレベルの向上を図り、生涯スポーツとしてバレーボールを楽しめる環境づくりに努めます。

3 自立した個人の集団の創造

常に勝利を目指す自立したトッププレイヤーの集まりであると同時に、社会人としてそれぞれが持つ仕事・責任を全うする「バレーボールと仕事を両立する集団」のロールモデルとなることを目指します。

2019-20シーズンの戦績

2019-20 V.LEAGUE Division1 MEN 順位表

順位	チーム名
1位	ジェイテクトSTINGS
2位	パナソニックパンサーズ
3位	サントリーサンパース
4位	JTサンダーズ広島
5位	堺ブレイザーズ
6位	東レアローズ
7位	ウルフドッグス名古屋
8位	FC東京
9位	大分三好ヴァイセアドラー
10位	VC長野トライデンツ



普及活動

FC東京バレーボールチームでは、「バレーボールを楽しむ、もっと好きになる」「なにごとにもチャレンジする」をコンセプトに、FC東京バレーボールチームの選手たちによるバレーボール教室を2002年から継続して実施。基本プレーを中心に、子どもたちの世代ごとの発育・発達に合わせた技術指導を行っています。2020年度も東京都内の小・中学生を対象として開催。一緒に汗を流し、バレーボールの面白さ、楽しさ、すてきさを伝えました。また18歳以上の女性が対象の「駒沢バレーボールコミュニティ」、小学生を対象とした「墨田バレーボール教室」、学校の授業の中でバレーボールを楽しむ「小学校訪問」など、普及専門スタッフを中心としたレッスンも定期的に開催。その他、各チームの練習場を訪れて実地指導を行う「出張指導」も積極的に展開しています。



バレーボール教室



小学校訪問



普及スタッフ指導

墨田区での活動の様子



ラジオ出演

ホームアリーナである墨田区総合体育館でのホームゲームをはじめ、地域の清掃や地元番組出演など様々なイベントに参加して、地域の一員としての活動を行っています。



清掃活動

練習場

TG深川体育館

〒135-0003 東京都江東区猿江2-15-10
(東京ガス深川グラウンド内)

チームマスコット

「東京ドロンパ」

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。

遊び場はもちろん噴水の素敵狸穴公園。

知らぬ間にパッと現れ、ドロンといなくなることから、いつしか仲間から「東京ドロンパ」と呼ばれるようになった。

東京タワーのそばに棲んでいるドロンパだから、「東京ドロンパ」というわけである。

狸の世界では誰もが認める東京ファンである。

そんな彼にオフィシャルマスコット招聘のオファーが届き、チームマスコットとなった。

2020シーズンは新型コロナウイルス感染症の影響により、ファン・サポーターとのふれあいができなかったが、オンラインのコンテンツに多く出演し活躍した。



クラブスポンサー

TOKYO GAS 三菱商事 MITSUI & CO. 清水建設

きらぼし銀行 TOKYO MX XFLAG